

「グローバルサウス」との連携強化について (外務省・経済産業省提出資料)

令和5年10月17日

1 問題意識

(1) 我が国は、一貫して「グローバルサウス」(以下GS)への関与を重視。GSとともに、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化すべく取り組んできている。

(2) 国際社会が歴史的な転換点を迎えている中、GSとの関与を更に強化し、分断と対立ではなく協調の国際社会を実現するために、国際社会をリードしていくことが日本外交の重要課題。

(3) そのために、新FOIPプランを始めとするこれまでの政策を着実に実施。その上で、ODAを始め、投入するリソースや日本企業の現地展開不足等の課題に対処し、我が国とGS諸国の相互の経済成長、経済的強靱性の強化を図っていく必要がある。



5月19日－21日 G7広島サミット

2 基本的な考え方

(1) 我が国の国益増進につながるものであること。

(①法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化、②貿易投資関係の強化を通じた相互の経済成長の実現、③重要鉱物等のサプライチェーン構築による経済的強靱性の強化 等)

(2) 脆弱国を始め、GSを一枚岩と捉えず、個別の地域・国の事情に応じた、きめ細やかな対応をとること。

(3) 国連憲章にある諸原則の重要性や気候変動を含むSDGsなど、GSとの共通項を強調し、国際公益の実現を図っていく姿勢を示すこと。

3 グローバルサウスの脆弱性・経済分野における重要性

- グローバルサウスには、自然災害や紛争・難民問題等、①個々の緊急課題に直面する国々が多いことから、社会環境の安定に向けて寄り添う必要あり。
- グローバルサウスへの関与強化は、②経済成長、③経済安全保障等の観点から非常に重要。
- 一方、グローバルサウスには、インフラの未整備・人材確保、政情不安等の課題があり、日系事業者の進出が十分に進んでいない。

個々の緊急課題（人道危機）

自然災害や紛争、難民問題等を抱える脆弱な社会

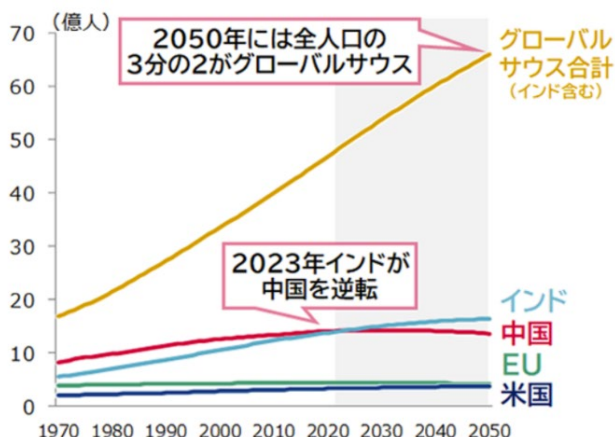
◆日本らしいきめ細かな人道支援
食料、難民、医療、テロ対策、女性等

◆地球規模課題
気候変動対策、感染症対策等

グローバルサウスに寄り添い、「人間の尊厳」ある安定した社会環境の実現

経済成長

2050年にかけて人口が伸び、高い成長が期待される



(出所)三菱総合研究所「MRIエコノミックレビュー：ウクライナ危機で存在感増す「グローバルサウス」①」

グローバルサウスと共に成長することで経済成長を実現

経済安全保障

サプライチェーンの重要鉱物の多くはグローバルサウスに存在

◆リチウム

中国：55%、チリ：30%

◆レアアース

中国：60%、ベトナム：16%

◆ニッケル

インドネシア：28%、フィリピン：26%

グローバルサウスと日本の経済強靱性強化を両立

4 対応案

(1) グローバルサウスとの政策対話や交流の機会を増やす

- ハイレベル交流含め、安全保障・経済等多分野にわたる重層的な対話・協力を活発化。
- 国民レベルでの人的交流や草の根交流の機会を増やしていく。招聘・派遣、文化交流。

(2) 具体的な協力の強化

- 外交の最も重要なツールの一つであるODAの効果的・戦略的活用。日本の強みを活かし、国毎の事情を考慮したオファー型協力を行い、開発途上国の課題解決と同時に、我が国の課題解決や経済成長にもつなげる。
- 日本企業の現地展開の加速など経済・ビジネス活動の深化を進めるとともに、グローバルサウス諸国との産業協力を強化する。
- 外交行事や総理の外国訪問を念頭に、東南アジア、インドを始めとする南西アジア、中東、アフリカ、中南米、太平洋島嶼国等との間で具体的な協力案件を形成していく。
- 特に、サプライチェーン、エネルギー、重要鉱物、脆弱国支援、DX・GX支援、国際保健などで具体的な協力案件を打ち出していく。

(3) 戦略的コミュニケーションの強化

- GSへの関与に際しては、説得力のあるナラティブを効果的に発信することが重要。

【ODAによる取組】最脆弱層への支援

アジア

- ミャンマー、アフガン等
難民支援
- スリランカ・パキスタン
支援
- 島嶼国での自然災害
対応、漁業支援



中東・アフリカ他

- TICAD8
- パレスチナ、シリア、スーダン等
の難民支援
- 自然災害、食料、医療、
テロ対策、女性



地球規模課題

- 国際保健
- 気候変動

【経済・産業分野での取組】



ASEAN

- アジア・ゼロエミッション共同体 (AZEC)構想(2022年1月～)
- 日ASEANサプライチェーン多元化
- 東アジア・アセアン経済研究センター設立(2008年6月～)



インド

- 「日印クリーン・エネルギー・パートナーシップ」(2022年3月)
- 「日印産業共創イニシアティブ」「日印半導体サプライチェーンパートナーシップ」(2023年8月)



中東

- 日・サウジ「ライトハウス・イニシアチブ」(2023年7月)
- 日・湾岸地域「グローバルグリーンジャーニー」(2023年7月)



アフリカ

- アフリカと資源・重要鉱物サプライチェーン、ナミビア「レアアース産業マスタープラン」(2023年8月)



中南米

- エネルギー・重要鉱物、炭素繊維サプライチェーン協力



太平洋島しょ国

- 社会課題解決ビジネス実証支援協力